

一主婦からの新発田市政通

皆様これで良いですか

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

平成 25 年 12 月 18 日 第 12 号

1 街づくりの為に、とことん議論しましょう

12月11日の第5回駅前複合施設基本設計審査会において委員より、建物が菱形に設計されている事に対し、角形のほうが良いという意見が出て会が紛糾しました。これまでもワークショップメンバーや議員から同様の意見が出ていました。12月8日に開催された第5回ワークショップに於いて、私が、今後、菱形を変更する予定がありますかと確認をした際、変更はないとの回答を貰っていました。基本設計の最終段階にある今になって、この事が審査会で問題になるのは、この計画を進める前に、駅前複合施設建設や図書館建設について、十分に時間をかけて議論して来なかった事が原因だと思います。図書館建設場所、図書館と子供センターを主体とした複合施設でよいのか、キッチンスタジオを置くか否か、他に必要な機能はないのか等、議論が尽くされず、大切な事を行政側が全て決めてきたからです。補助金目当てに、市民との議論をさげ、拙速に事を進めた事の弊害が表面化した形です。

結局、菱形設計のイメージが浮かばず比較できないという事で、次回の審査会までに、菱形、角形の両方の立体モデルを作成して貰う事になりました。さらに、それぞれの建設費用を試算して貰い、形状、費用の両面から比較、検討する事になりました。

私は傍聴者ですが、今回の審査会では、形状の賛否はともかく、白熱した本音の議論を聞くことが出来ました。時間をかけて議論を尽くすことが大切だと改めて思います。できることなら、すべてを白紙に戻し、建設場所を含めた図書館、複合施設について、多くの市民を巻き込み議論できたらと思います。

街づくりは、異なる意見を排除せず、時間をかけて議論し、とことん市民の声に耳を傾け、市民が納得したうえで進めるべきだと思います。今も新庁舎建設場所に対する市民の不満ばかりが聞こえてくるのは、この事が欠如した結果だと思います。

2 中途半端な修理、改修工事で良いですか

新発田駅舎が改修されました。工事費用を、JRが全額負担し、盛大に行われた祝賀セレモニーを、市が全て段取りをし、費用も負担しました（市は駅橋上化しなかった為の違約金を、既にJRに支払っています）。城下町風に改修したのですが、ある市民の言葉を借りれば、中途半端な改修です。そもそも駅を橋上化していれば、このような中途半端な工事は必要ありませんでした。

現図書館の外壁修理をしていました。しかし、裁判沙汰にもなっている、玄関横の雪落下防止の為の工事は行われていません。現図書館を本館とし、歴史資料館として今後も使用する意向なので、早急に対策を講じなければなりません。中途半端な修理より、住民の命を守る為の早急な危険防止対策が必要です。

この二つの例をとって見ても、根本的な問題解決が先送りにさ

れたままです。

3 新庁舎建設費用が約70億円かかります

12月議会における市長答弁によって、新庁舎建設費用が当初概算約57億円から13億円上昇し、総額約70億円かかるという事がわかりました。市民要望に応えた結果と資材、人件費の高騰が、この大幅な建設費用増大の原因だとするのは、的を得ていないように思います。私には、このまま70億円で済むとは思えません。

市長答弁によると、補助金がある為。市の負担は少なく済み、財政健全化指数も健全財政を示しているのでは問題はないとの事でした。しかし、補助金は、いずれ国民全体の負担となるという視点が欠けています。国は原発処理問題という大きな負の遺産を抱えています。現在、国の借金は約1千兆円あります。この状況の中、10年後の新発田市財政が本当に大丈夫と言えるのでしょうか。

来年は、介護保険制度が変わり、利用者負担が増える予定です。消費税も上がります。新車購入時から軽自動車税が1.5倍になります。市長答弁によると、平成27年度には国民健康保険料が値上げされる恐れがあります。さらに年金が減るでしょう。低所得者の負担が増す一方です。取れるところから、お金をかき集めようとする政策が、弱者の生活に追い討ちをかけます。住みよいまち新発田市の標榜からは程遠く、税金をばらまいても自殺者は増え、人口減少に歯止めがかからないでしょう。新庁舎建設費用上昇約13億円を意に介さない人達には弱者の気持ちはわからないでしょう。

12月13日の総務常任委員会で、駅前複合施設建設予定地の諏訪神社側一部購入費約1億4千8百万円と実施設計費約1億2千4百万円、新庁舎建設に伴う県道消雪パイプ移設費用約840万円の補正予算に対し、将来の新発田市財政を案じた一人の議員の反対のみ、他賛成多数で採択されました。本会議最終日の採決を待つばかりです。市有地と民有地の土地交換問題が残っていますが、計画が実質的に進みます。二階堂市長の意のままに事が進みます。

4 責任を取るの誰でしょうか

議会答弁の中で、二階堂市長は来年の市長選出馬への意欲を覗かせました。バランス感覚を失い、補助金頼みの、ばら撒き市政の継続を市民の皆様は望まれますか。今更、教育や福祉が大切と言われて信じる事ができますか。経済アナリストの藤原直哉氏が12月13日朝のNHKラジオ番組において、株取引や補助金では、すでに日本を活性化できない状態に陥っていると述べられていました。いずれ、この結果は出ます。日本も新発田市も、活性化しない場合、誰が責任を取るのでしょうか。

利害に捉われず、新発田市民の為に、弱者の為に働いて下さる、誠実な新市長が新発田市に誕生する日を夢見ています。